

# BOM for Windows Ver.6.0 SR2 リリースノート

Copyright © 2015 SAY Technologies, Inc. All rights reserved.

このドキュメントでは、BOM for Windows Ver.6.0 SR2 の主な新機能、及び、BOM for Windows Ver6.0 SR1 2015.01 からの仕様変更、不具合修正、制限事項の各内容について、ご案内しています。

---

■ ■ 新機能 ■ ■	2
1. BOM かんたん設定ツールを実装	2
2. BOM 監視スケジューラ機能を実装	2
3. Windows 10 に対応	2
4. Red Hat Enterprise Linux 7.1 に対応	2
5. SUSE Linux Enterprise 12 に対応	2
■ ■ 仕様変更/機能改善 ■ ■	2
1. メールアクション、通知項目の強化	2
2. 集中監視 Web サービスで使用している JRE (Java Runtime Environment) をアップデートしました	2
■ ■ 不具合修正 ■ ■	2
1. VMware ビューアーデータ収集のデータが意図せずアーカイブされてしまう不具合を修正	2
2. BOM Ver.6.0 SR1 へアップグレードした際、スタートアップの種類が正常に引き継がれない不具合を修正	2
3. コマンドラインからレポートを出力するための一部変数不具合を修正	2
■ ■ 注意・制限事項 ■ ■	3
1. Report オプションで出力する際の Red Hat Enterprise Linux 7.1 ハードウェア情報	3
■ ■ 公開済みモジュール ■ ■	3
1. BOM for Windows Ver.5.0 / 6.0 向け サーバー診断レポートオプション / Report オプション 修正モジュール	3
2. OpenSSL 脆弱性 (CVE-2015-0204) に対応したモジュール	3
3. VMware オプション Ver.6.0 SR1 向け ESXi 6.0 対応アップデートモジュール	3
4. Citrix XenApp オプション 修正モジュール	3

---

## ■ ■ 更新履歴 ■ ■

- 2013 年 06 月 BOM for Windows Ver. 6.0 リリース
- 2014 年 02 月 BOM for Windows Ver. 6.0 SNMP トラップ受信機能 拡張モジュールリリース
- 2014 年 04 月 BOM 6.0 Rollup Package 2014. 4. 15 リリース
- 2014 年 10 月 BOM for Windows Ver. 6.0 SR1/SQL Server オプションリリース
- 2015 年 12 月 BOM for Windows Ver. 6.0 SR2 リリース

## ■ ■ 新機能 ■ ■

### 1.BOM かんたん設定ツールを実装

- BOM 6.0 を新規で導入したい Windows コンピューターに対して、あらかじめ設定した内容でインストーラーを作成するためのツールを実装しました。

### 2.BOM 監視スケジューラ機能を実装

- Windows のタスクスケジューラへ対し、監視グループ、監視項目の有効無効を作成する支援ツールを実装しました。

### 3.Windows 10 に対応

- Windows 10 に対応しました。対応するエディションにつきましては、弊社 Web の製品情報をご参照ください。

### 4.Red Hat Enterprise Linux 7.1 に対応

- Red Hat Enterprise Linux 7.1 に対応しました。詳細につきましては弊社 Web の製品情報をご参照ください。
- なお、Red Hat Enterprise Linux 7.0 はサポート対象外です。

### 5.SUSE Linux Enterprise 12 に対応

- SUSE Linux Enterprise 12 に対応しました。詳細につきましては弊社 Web の製品情報をご参照ください。

---

## ■ ■ 仕様変更/機能改善 ■ ■

### 1.メールアクション、通知項目の強化

- 宛先欄を拡張し、見やすくなりました。

### 2.集中監視 Web サービスで使用している JRE (Java Runtime Environment) をアップデートしました

- BOM 集中監視 Web サービスで使用している JRE のバージョンを「jre7u65」から「jre8u45」へアップデートしました。

---

## ■ ■ 不具合修正 ■ ■

### 1.VMware ビューアーデータ収集のデータが意図せずアーカイブされてしまう不具合を修正

- VMware ビューアーデータ収集のデータをアーカイブ対象から外しても、アーカイブされていた不具合を修正いたしました。詳細についてはユーザーズマニュアルの“11.6.3 アーカイブ設定”を参照してください

### 2.BOM Ver.6.0 SR1 へアップグレードした際、スタートアップの種類が正常に引き継がれない不具合を修正

- BOM Ver. 6.0 SR なしから BOM Ver. 6.0 SR1 へアップグレードした際、「BomBackupService」、「Bom6Indicator」と「BOMSNMPManageService」においてスタートアップの種類が正常に引き継がれず、「自動」で上書きされてしまう不具合を修正しました。

### 3.コマンドラインからレポートを出力するための一部変数不具合を修正

- コマンドラインからレポートを出力するための日付変数で、「ee」を指定した際、指定月の月末日付を正しく反映できない不具合を修正しました。

## ■■ 注意・制限事項 ■■

### 1.Report オプションで出力する際の Red Hat Enterprise Linux 7.1 ハードウェア情報

- Red hat Enterprise Linux 7.1 のデータをアーカイブし、Report オプションを使用しレポートを作成した際、ハードウェア情報が出力されません。これは、RedHat 社の仕様変更により、従来取得できていたハードウェア情報が取得できなくなったことによる制限です。

## ■■ 公開済みモジュール ■■

下記の内容は Web サイトなどで公開済みの修正モジュールで修正済みの内容です。BOM 6.0 SR2 ではこれらのすべてを含んでおり、個別に修正モジュールを適用する必要はありません。下のいずれかの内容に対応する修正モジュールを適用済みの環境に BOM 6.0 SR2 を適用した場合、未適用の修正モジュールを自動で判断しすべての修正モジュールが適用された状態となる様インストールが実行されます。

### 1.BOM for Windows Ver.5.0 / 6.0 向け サーバー診断レポートオプション / Report オプション 修正モジュール

- サマリーシート及び過去比較情報シートに表示されている NIC1、NIC2 のソート順番が正しい表示となるように修正。
  - レポート作成ウィザードが異常終了せず、正常にレポート出力が行えるよう修正。
- 2015 年 8 月 3 日公開:BOM for Windows Ver. 5.0 / 6.0 向け サーバー診断レポートオプション / Report オプション 修正モジュール

### 2.OpenSSL 脆弱性(CVE-2015-0204)に対応したモジュール

- OpenSSL にて発見された脆弱性(CVE-2015-0204)の対策として、BOM で使用している OpenSSL のバージョンを更新
- 2015 年 5 月 13 日公開:OpenSSL 脆弱性(CVE-2015-0204)に対応したモジュール

### 3.VMware オプション Ver.6.0 SR1 向け ESXi 6.0 対応アップデートモジュール

- ESXi 6.0 で追加されたパフォーマンスカウンターに対応したモジュールを公開
- 2015 年 8 月 11 日公開:VMware オプション Ver. 6.0 SR1 向け ESXi 6.0 対応アップデートモジュール

### 4.Citrix XenApp オプション 修正モジュール

- 取得リストの文字列の長さ(出力時のカンマを含む)を 1023 文字まで拡張しました
- 2015 年 4 月 23 日公開:BOM for Windows Ver. 6.0 向け Citrix XenApp オプション 修正モジュール

Copyright © 2015 SAY Technologies, Inc. All rights reserved.